

第2回男鹿市地域公共交通活性化協議会会議録

日時：平成22年11月4日（木） 午後2時30分

場所：男鹿市役所 3階第一会議室

出席委員 (24人)

1号委員	檜 尾 浩 司		
2号委員	岡 部 研 一		
4号委員	糸 井 博	二 田 良 英	菅 原 龍 一
	齊 藤 芳 博	柴 田 澄 世	鎌 田 栄 光
	山 本 次 夫		
5号委員	石 垣 禮 之 輔	齊 藤 登	飯 澤 信 夫
	佐 々 木 一 義	石 黒 茂 雄	高 桑 繁
	大 淵 俊 三	仲 村 盛 吉	仲 村 英 典
6号委員	佐 藤 巳 次 郎	蓬 田 信 昭	木 村 一 裕
7号委員	伊 藤 正 孝	渡 辺 敏 秀	

代理出席 (1人) (委員名) (代理者)

5号委員	大 高 秀 雄	武 田 邦 重
------	---------	---------

欠席委員 (1人)

3号委員	菊 地 陽 司
4号委員	下 村 直 樹

オブザーバー (1人)

- ① 秋田県建設交通部 建設交通政策課 主 任 山 田 敦 史

出席事務局職員

- ① 総 務 企 画 部 長 佐 藤 誠 一
 ② 企 画 政 策 課 長 山 本 春 司
 ③ 企 画 政 策 課 主 席 主 査 吉 田 悟
 ④ 企 画 政 策 課 主 席 主 査 畠 山 隆 之

第 2 回 男鹿市地域公共交通活性化協議会

日時：平成 22 年 11 月 4 日 午後 2 時 30 分から
場所：男鹿市役所 3 階 第 1 会議室

次 第

1. 開 会

2. 議 事

- (1) 議事録署名委員の選任について
- (2) 経過報告について
- (3) 実証運行路線の地区説明会の結果について
- (4) 平成 23 年度市運行路線の協議について
- (5) 平成 21 年度決算の認定について
- (6) 今後のスケジュールについて

資料 1	
資料 2	
資料 3	資料 9
資料 10	
資料 11	

6. そ の 他

7. 閉 会

午後 1 時開会

○事務局 山本企画政策課長（事務局長）

議事に入ります前に人事異動等によりまして委員が交代しておりますのでご紹介申し上げます。まず、秋田県建設交通部建設交通政策課の副主幹の岡部様でございます。もう一方、秋田中央交通労働組合の書記長であります柴田様でございます。

議事につきましては会則によりまして、木村会長から進めていただきたいと思います。

○木村会長

承知しました。皆様お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございました。本日の議事は経過報告のほか平成 23 年度市運行路線の協議について等 5 件あります。皆さまの活発なご発言を期待します。

まず、（１）議事録署名委員の選任についてお諮りいたします。協議会規約第 20 条第 3 項により 2 名の議事録署名委員の選任となっていますが、いかがいたしましょうか。

事務局のほうでなにかありませんか。

○事務局 吉田

それでは事務局からご提案申し上げます。男鹿市老人クラブ連合会会長の仲村委員と男鹿市建設課長の渡辺委員をご推薦いたします。

○木村会長

事務局より仲村委員と渡辺委員を推薦するとございましたが、お諮りいたします。そのように承認することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり。）

ご異議ないようですので、議事録署名委員は仲村委員と渡辺委員に決定しました。よろしく願いいたします。

次に（２）の経過報告についてであります。事務局より説明願います。

○事務局 吉田

それでは、経過報告についてご説明をさせていただきます。お手元の資料の 1 ページをお願いします。平成 22 年度男鹿地域公共交通活性化協議会事業の経過報告であります。第 1 回の協議会総会より、本日までの流れを表にまとめたものであります。第 1 回の協議会総会では会長、副会長、監事の選任及び中央交通からの廃止路線の概要案について審議をいただいております。8 月に入りますと路線バス再編に関する地域説明会の開催をしております。8 月 24 日より 8 月 30 日まで現、実証運行路線男鹿中線、五里合線、潟西北部線の沿線の地域で説明をしております。10 月 5 日におきましては加茂公民館におきまして加茂の路線について地域説明会をしております。会計監査の実施は 8 月 26 日でございました。平成 21 年度の男鹿市地域公共交通活性化協議会の会計監査をしていただいております。4 番の庁内検討会は 10 月 15 日に開催してございまして、市役所内の関係各課の課長からお集まりいただいて来年度の市の運行路線について検討をしていただいております。10 月 28 日には幹事会を開催し、本日の総会に提出する案件の決定をしていただいております。第 2 回協議会総会の開催は本日であります。よろしく願いいたします。

○木村会長

ただいま 22 年度の経過報告について事務局から説明がございましたが、何か質問や意見などありませんか。

（「なし」の声あり。）

それではお諮りします。(2)の経過報告については、ただいまの案で了承してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり。)

異議がないようなので経過報告については、この案で了承いたしました。次に(3)実証運行路線の地区説明会の結果について事務局から説明願います。

○事務局 吉田

2 ページをお願いいたします。こちらは先ほどのスケジュールのところでもありました、現、実証運行路線におきます地域説明会の結果を一覧表にまとめたものでございます。8月24日には若美地区の北部の地区と中央の地区、こちらで開催しております。参加人数は表のとおり中央地区が5名、北部地区が4名ということでありまして、意見といたしましては、高校生は自家用車で送迎してもらっているのでバスの利用が非常に少ない、また、中学生で、スクールバスの補助が出る、出ないということの不公平があるという意見でありました。北部地区のほうではショッピングセンターアマノまでタクシーを利用している人がいるので、これを何とかできないものかと、あとは、高校に通ってらっしゃる子どもがおりまして若美総合支所から18時代のバスを何とか確保していただきたいとの意見がありました。

8月25日は船川地区と脇本第2地区で実施しました。船川地区は7名でございました。脇本第2地区は6名でございます。主な意見としましては、船川地区でありますと、踏み台のようなものを高齢者のため用意してほしいとか、みなと市民病院へ直接行ける便を用意してほしいという意見が出ております。脇本第2地区におきましては、スクールバスというものはやめて路線バスへ全部編入して、お子さんを一般路線へ全部乗せたほうがよいのではないかという意見が出ております。また、みなと病院を民間の病院のように送迎を別にしたほうがいいのではないかなどが意見として出されております。8月26日は五里合地区でございまして31名が出席してございます。こちらの地区ではみなと市民病院への直行便を用意してほしいという意見が出されております。8月30日には脇本本村地区と男鹿中地区であります。脇本本村地区は7名の参加でございまして、船越線、船越駅からみなと市民病院行きの路線を本村まわりにしていただきたいという意見と市単独運行バスを市直営にしたかどうかという意見が出されておりました。男鹿中線におきましてはバスに実際に乗っている人の乗車目的を調査してほしいという意見が出されております。8月24日から8月30日まで合計の延べ人数が70名の参加でございました。以上でございます。

○木村会長

ただいま事務局から地域説明会の結果について報告がありましたが、ご質問、ご意見等ございませんか。

ちょっとよろしいでしょうか。いろんな意見が出ているわけなのですが、これについては今回、このあとの議題で対応をご説明していただける機会があるのでしょうか。

○事務局 吉田

このあとの対応といたしましては、若美北部地区で出ました総合支所発18時台のバス、こちらに対応してほしいという意見については、この後ダイヤの編成替えというところで説明します。みなと病院への直行便ということについては、連携計画なかでもそれについては不可能であるとのことを前提にした計画でありますので、こちらへの対応は厳しいものと考えております。アマノまでのタクシーの件、こちらの方は意見が出されてからすぐ、秋田中央交通へ行っております。この件についてはこの後協議をして対応していきたいと考えております。それと今回の路線の編成替えということで、五里合線のルート変更を含めまして、船越線、こちらを本村まわりにかえるように中央交通と協議をしております。それによりまして、現在走っております五里合線が現在の船越線のルートを走るということでルートの切り替えについて協議をしております。以上であります。

○木村会長

地域説明会の報告ですので、なければこの経過の結果についてお諮りしたいと思いますがよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり。）

ないようですので、地域説明会の結果報告につては、この案で了承いたしました。

それでは、議事の（４）平成 23 年度市運行路線の協議について、事務局から説明をお願いします。

○事務局 吉田

資料の 3 ページをお願いします。こちらは男鹿中線の平成 23 年度からの時刻表でございます。この路線につきましては上下線ともにジャンボタクシーを想定した形で計画をしております。朝の上りは浜間口中丁発 7 時 20 分、羽立駅前行きは定時定路での運行を予定しております。下りの便は午後の便を予定しておりますして 5 便すべてデマンド方式、いわゆる予約運行と形態を想定しております。平成 23 年度におきましては、現在、実証運行中の男鹿中線、五里合線、潟西北部線の 3 路線のほか入道崎線、戸賀加茂線、安全寺線を新たに加えた形で運行を予定しております。次のページ、4 ページをお願いします。こちらは五里合線のバス時刻表でございます。こちらは現在運行している便ですが、黒く塗られている便は平成 23 年度に廃止を予定している便です。表の右側に各便の乗車実績を載せてございます。この黒塗りの便、中石発 17 時 14 分発の便は 6 ヶ月の乗車実績が 6 名、中石発 18 時 37 分は 12 名の実績でありました。また、下り便におきましては脇本駅前発 7 時 33 分の中石行きが 6 ヶ月間で 7 名ということで、非常に利用が少ないということでございます。こちらは 3 便の廃止をさせていただき予定となっております。次のページをお願いいたします。こちらは新しい五里合線の路線図でございます。変更になる部分は路線の下になる部分、破線で標記されているところであります。現在の五里合線は破線の部分を通りまして脇本駅前行き、そこで船越線に乗り継いでいただき、みなと病院まで行くという形態であります。新しい路線は破線部分を船越線が通る予定となっております。五里合線についてはマックスバリュのところ、消防署の交差点を右に入らせていただきまして、脇本第一小学校を経由して脇本駅へ向かう路線を考えてございます。次のページ、6 ページをお願いします。こちらは潟西北部線の来年度の時刻表でございます。黒く塗っている便は全体の便のなかで、とくに乗車率が多いというところございまして、マイクロバス以上の容量を走らせるという計画でございます。こちらの便は野石小学校の児童が利用しているという実績がございます。後の便は極端に少ないということはないものの、やはり全体的に低密な状態でありますので、大型のバスではなく、ジャンボタクシーで運行するという計画をしております。

地元の要望によりまして今年度は乗り継ぎがないように大きなバスを走らせて実績を見ていたわけですが、来年からは形態が変わるということで、もう 1 年、実証運行ということで実績をみてみたいと考えています。次のページ、7 ページをお願いします。こちらは入道崎線のバスの時刻表でございます。経路といたしましては湯本駐在所前から入道崎までの間でございまして、現在は秋田中央交通の男鹿北線がそちらのほうまで運行をしております。平成 23 年度から男鹿北線はみなと病院から湯本駐在所までのルートで運行する予定となっております。そこから先が市で運行することとなっております。現在のダイヤとは大幅な変更はございません。しかしながらこちらの方は、抜き打ちで乗車実績を調べさせていただきましたところ、やはり全体的に低密であるという乗車実績でございましたので、こちらのほうも大型のバスではなく、ジャンボタクシーでも間に合うということで予定をしております。次のページをお願いいたします。こちらは入道崎線の路線図でございまして現在の男鹿北線の路線と変わりありません。ただ、湯本駐在所から先が市の単独運行バス路線となっております。次のページ、9 ページをお願いします。こちらは新しい入道崎線の営業キロ数とそれから料金表の案でございます。料金表の見方といたしましては料金表の枠目の上段、こちらは現在、秋田中央交通が運転している運賃でございます。中段が市の単独運行バスに切り替わった場合の料金表でございまして、一番下が各バス停間のキロ数になります。現在でいいですと入

道崎からバスに乗りまして湯本駐在所までいきますと 310 円の料金を支払いますが、これが市の単独運行バスになった場合は 100 円である。という意味であります。こちらの料金の考え方は下のきざみのおり 0 から 6 キロまで 100 円、6.1 キロから 12 キロまで 200 円、12.1 から 18 キロまでが 300 円というきざみで料金を考えてございます。次のページ、10 ページをお願いします。

こちらは戸賀線及び加茂線の各バス停間の時刻表でございます。色の黒い部分は加茂から男鹿水族館までで、こちらで加茂線と名前を付けております。淡い色のほうが戸賀線でございます。男鹿水族館から湯本駐在所まででございます。ダイヤにつきましてはほぼ現行どおりですが、路線は戸賀線と加茂線に分けて計画をしてございます。戸賀線につきましては、男鹿水族館 GAO への観光客の足の確保という面から秋田中央交通のバスを乗り継ぎなしで、水族館まで運行するというを前提に考えております。ただし、料金の精算につきましては、現在運行中の潟西北部線のように湯本駐在所まで来ましたら、車内で一旦精算するという形態を予定しております。加茂線につきましては全線デマンド方式、予約の路線ということで考えております。この路線は非常に乗客が少ない状態でありますのでタクシーでの運行を考えております。次のページ、11 ページをお願いします。こちらは戸賀線、加茂線の路線図でございます。黒い実線が戸賀線のルートとなります。破線のルートが加茂線のものです。現在、秋田中央交通で運行しているルートそのままです。次のページ、12 ページをお願いします。こちらは戸賀線の営業キロ、料金表でございます。さきほどの入道崎線と同様に見ていただきたいと思います。こちらも考え方としましては 6 キロまでが 100 円、さきほどの路線と同じ考え方でございます。男鹿水族館から男鹿みなと市民病院まで行った場合、現在よりも少し割高になります。変化としてはその辺でございます。男鹿水族館から湯本駐在所までは 200 円ということでございまして、湯本駐在所から秋田中央交通の初乗りということになりますので、男鹿水族館の 200 円プラス湯本駐在所前から男鹿港市民病院までの 830 円を加えた 1030 円となっております。次のページ、13 ページをお願いします。こちらは加茂線の料金表となっております。こちらで想定しておりますのはタクシーの車両ということでございまして、こちらの路線だけは 3 キロで 200 円です。加茂から男鹿水族館まで利用された場合は 300 円という形になります。加茂からみなと市民病院まで利用した場合、現在は 1110 円という料金でございましたが、こちらの場合、1330 円、220 円割高というふうになります。次のページをお願いします。こちらは安全寺線の時刻表でございます。安全寺線の路線は安全寺上丁から西水口を経由して北浦市民センターまでの経路であります。時刻表につきましては、男鹿北線との接続、北浦市民センターでの接続という点がございしますので、若干のダイヤの変更という状態となっております。この路線には、北陽小学校、男鹿北中学校へ通学している児童、生徒さんがいらっしゃいます。次のページをお願いします。こちらは安全寺線の路線図でございます。安全寺上丁を出ましたバスは、五輪野を経由しまして、左側の西水口方向に入っていきます。温浴ランドのところで U ターンをしまして、北陽小学校、北浦表町、北浦市民センターという形で入っていきます。北浦市民センターにおきまして男鹿北線と連絡ということを想定しております。次に 16 ページをお願いします。こちらは同じように安全寺線の料金表でございます。この料金表の見方は先ほどと同じであります。きざみも 6 キロきざみで 100 円となっております。これをみていただけると現在の料金表と比較ができると思います。次のページをお願いいたします。17 ページですが男鹿市単独運行バスの委託運行路線の概要ということであります。男鹿市の、現在もそうですが実証運行路線これはすべて委託運行ということで、赤字額の大きな不採算路線は、ダイヤ改正、路線再編を行っても赤字路線からの脱却は難しく、地域住民の移動手段の確保を図り、また、市の負担を軽減させるため、そういう意味で委託運行を実施しております。委託運行は現在運行している路線バスを一旦廃止し、市が事業主体となって代替バスを運行するということをしています。運行事業者の運行に関するノウハウは非常に高いものがありますので、こちらを活用しながら適切な運行を確保するものであります。運行に当たっては責任は運行事業者に負ってもらうということでございます。3 番は利点ということでまとめております。非常に安価な事業者を選定できるということで経費を削減することが可能となります。県単の補助の交付の対象となりまして市の負担額が軽減されるということであります。それで、事業主体が市でありますので利用状況に応じた路線再編、ダイヤ改正について市の

判断で対応可能となることが、利点の3点目でございます。委託運行期間は平成23年4月1日からでございます。路線系統については下のようにまとめてございます。平日は7路線、8系統73便でございます。内訳を下に書いてございます。休日については6路線、7系統53便を予定しております。経路につきましては先ほどご説明をしたとおりでございます。運行時間は先ほど説明したとおりでございます。運行車両は受託している事業者が用意することになります。運行運賃につきましては、先ほどの運行表のとおりでございます。委託をお願いする事業者であります、委託運行開始時点で市内に事業所を有する一般乗合あるいは貸切、乗用旅客自動車運送事業者の許可を取得している事業者を委託事業者に選定することとしています。以上でございます。よろしくお願いいたします。

○木村会長

ただいま事務局から平成23年度市運行路線の協議について説明がありましたが、質問やご意見がありましたらお願いします。

運行路線については、いろいろ地域の説明会をして、そうした意見を踏まえてのことだと思いますが、時刻表なりそういったものなののでしょうか。

○事務局 吉田

説明会の時にはまだ、ダイヤの状態は決まっておりました。しかし、市としましては、現在利用している方のことを考えると、今の路線と大きく隔たった考え方でいきますと、なかなかなじめないということもございましたので、今の路線の運行をそのままなぞるという状態で考えて、それに沿った形で説明をしております。以上であります。

○木村会長

デマンドスタイルでの予約とか、その辺の作業の心配とかはどうでしょうか。

○事務局 吉田

デマンドに関する説明については、説明会の時点で来た人に繰り返しお話をしております。そして9月1日のダイヤ改正時のチラシの中でもデマンドのことについて触れさせていただいております。この後、実際に路線が決まりまして走る寸前になりまして、地域の説明会、それと広報、チラシ等での周知を図っていきたいと考えております。

○木村会長

地域の方もおられますので、何かありましたらお願いします。

○佐藤（巳）委員

資料の13ページの加茂線ですけれども、改正後はほとんどの路線で現行より安くなっていますが、加茂線の加茂から金ヶ崎駐車場までが現行より高くなっていますけど、現行料金どおりできないのか、どういう検討をしたのか、キロ数から計算すればこうなることだと思いますが、現行より高くなれば利用する人は大変だと思いますが。

○事務局 山本企画政策課長（事務局長）

この加茂線の料金につきましては、タクシーでの運行ということで、バスと同じような料金設定では具合が悪いのではないかということと、さらに現在、男鹿中線で行なっているデマンド方式についても300円というふうに設定しておりまして、それらとの公平性を考えまして3キロまで200円、3キロ以上については300円と設定しております。これまでのバス運行からタクシーでの運行になったことにより若干割高となっております。

○山本委員

男鹿北線と入道崎線については、湯本駐在で乗換えということですが、北浦の市民センターでも乗り継ぎだということですが、その場合、石垣さん、市民センターにはいつも車がいっぱいいるようですが、スムーズに乗換えができると思いますか。

○石垣委員

安全線のジャンボタクシーからの乗り継で待機する場所はそこに確保しておきます。

○山本委員

確保する？

○石垣委員

はい。

○山本委員

じゃ、いいです。

○木村会長

15 ページのところに温浴ランドというのがありますが、これはかなり利用者が多いのでしょうか。

○事務局 吉田

現在、市のほうで今年に入って 1 週間ほど、春と夏に調査をしております。その結果、温浴ランド行きのバスですけれど 1 週間で 7 名ほど利用しております。特に 14 時発着の便がたまに利用者がいらっしゃるという状況であります。以上であります。

○事務局 山本企画政策課長（事務局長）

先ほどの佐藤委員からのご質問で、私ちょっと答弁がかみ合わない部分がありましたので、改めてお答えさせていただきます。金ヶ崎から男鹿水族館までが、現行より高くなっているというご質問だったと思います。これについては先ほど申し上げましたようにキロ数である程度基本的料金を設定するということで、ベースは男鹿中線をベースにして考えております。この区間については 5.8 キロの中での 300 円ということでありますので、どうしても 200 円、300 円という区切りをつけないければならないということで、金ヶ崎につきましては 300 円でいきますと大幅に料金が上がるということで 200 円にしておりますのでよろしくお願いします。

○木村会長

17 ページの資料の 3 の委託運行の利点ということで 1 番に安価な運行業者の選定ということ 2 番目に市の予算額が軽減されるとございますが、どれくらい軽減されるかという試算はされているのでしょうか。

○事務局 吉田

事務局では何回かにわたりまして試算はしてございます。ところが、年々、乗車率が急激に落ちておりまして、例えば平成 20 年度ベースでこれを試算したとしても、いざ実績が出ると県単の補助の枠内にも入らないということも考えられる状況でありますので、今はちょっと申し上げられません。

○石黒委員

同じ 17 ページの 10 番で委託業者さんのところですが、前に 8 月の住民説明会の船川地区で住民の方から、ジャンボタクシーの乗り降りの際に踏み台を置いたほうがいいのではないかという提案があげられておりますが、そのとおりだと思います。とりわけタクシーではなく、ワゴン車のようにステップが高いのでそういうようなものが必要だと思うのですが、こういうことについて、業者、ドライバーなどにヘルパー的な資格を持つことを義務付けることは考えていませんか。

○事務局 吉田

今のところヘルパーの免許を持っているものを選定することは想定してございませんが、将来に向けて検討していきたいと考えてございます。

○事務局 山本企画政策課長（事務局長）

ちょっとよろしいですか。船川で出されました踏み台の設置につきましては、速やかに事業者さんのほうへ連絡したところ、そのような対応をしていると伺っております。

○仲村委員

市PTA連合会の仲村です。17ページの2番のカッコ書きで運行責任は運行事業者とあるのですが、何らかの事故等が発生した場合は、勉強不足でよくわからないのですが、監理監督責任とか、個別の事案で何ともいえない部分があると思うのですが、そこら辺は責任の所在と申しますか、その辺を教えてください。

○事務局 吉田

監督責任の件でございますが、委託契約を結ぶ際に委託契約書内にその安全の管理の部分を定めてございます。万が一のことがあった場合は、市の企画政策課のほうへ連絡していただくということになっておりまして、それによって対応するというようにしてございます。

○山本委員

市内に委託業者さん、たくさんおられますか。

○事務局 吉田

乗合と貸切で数は違うのですが、複数の業者がおられます。

○山本委員

業者の選定方法は？どのように選ばれるのですか。選定の際いろいろ条件がありますよね。

○事務局 山本企画政策課長（事務局長）

基本的には入札で行います。ただ、戸賀線につきましては、水族館へ向かうお客さんの利便性を考えまして、男鹿北線から乗り換えなしに直通で行けるようにしますので、この路線については中央交通さんと随意契約にしたいと考えています。

○木村会長

もしご意見がないようであれば、この協議について決してよいのでしょうか。それでは平成23年度市運行路線の協議について本案のとおり決定してよろしいかお諮りいたします。ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり。）

ご異議ないようですので、平成23年度市運行路線の協議については本案のとおり決定されました。それでは、議事の（5）に移ります。平成21年度決算の認定について事務局から説明願います。

○事務局 吉田

資料18ページをお願いします。平成21年度男鹿市地域公共交通活性化協議会決算書であります。収入の部を説明いたします。1款負担金1項1目負担金は50万円でございます。これは男鹿市からの負担金ということでございます。2款1項1目補助金、こちらは0円でございます。3款1項1目繰越金は予算額26万4千156円、決算額26万4千156円でございます。4款1項1目諸収入は、予算額0円、決算額130円でございます。こちらは預金利子でございまして、収入総額で予算額76万4千156円、決算額76万4千28

6 円で差額が 1 3 0 円ということでございます。支出の部でございます。1 款運営費 1 項会議費 1 目会議費は予算額 5 7 万 3 千円でございます。決算額は 4 9 万 9 千 4 8 6 円で 7 万 3 千 5 1 4 円の減であります。内訳といたしましては報償費 3 5 万 3 千 5 2 0 円、こちらは、協議会及び幹事会の報償費でございます。旅費は 1 0 万 6 千 1 4 0 円でございます。こちらにも会議にかかる旅費ということでございます。需用費 3 万 9 千 8 2 6 円こちらは会議の資料作成代、コピー代でございます。2 項事務費 1 目事務費は予算額 1 9 万 1 千円でありまして、決算額は 2 万 3 千 8 7 4 円であります。差額 1 6 万 7 千 1 2 6 円の減、こちらは需用費が 9 千 6 3 4 円、封筒の印刷等でございます。役務費 1 万 4 千 2 4 0 円、こちらは会議招集にあたりましての切手代であります。事業費は予算額 0 円、決算額 0 円でございます。3 款 2 項予備費 1 目予備費は予算額 1 5 6 円、決算額 0 円で 1 5 6 円の減でございます。支出合計が予算額 7 6 万 4 千 1 5 6 円、決算額 5 2 万 3 千 3 6 0 円で 2 4 万 7 9 6 円の減でございます。歳入－歳出の 2 4 万 9 2 6 円は次年度への繰越となっております。以上でございます。

○木村会長

ただいま事務局から平成 2 1 年度決算の認定について説明がありましたが、監事の二田委員から監査報告をお願いします。

○二田委員

それでは会計監査の報告をしたいと思います。先般 8 月 2 6 日に当協議会の平成 2 1 年度の会計の執行状況を監査したところ、関係帳場、通帳、現金ともに適正に管理され、予算執行されておりましたので、ここにご報告いたしたいと思います。監査委員、糸井博、二田良英、以上でございます。

○木村会長

なにかご質問等ございませんか。

（「なし」の声あり。）

それでは、平成 21 年度の決算の認定につきまして、本案のとおり認定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり。）

ご異議ないようですので、平成 21 年度決算の認定については、本案のとおり認定されました。次に（6）今後のスケジュールについて事務局から説明願います。

○事務局 吉田

6 番の今後のスケジュールにつきましてご説明いたします。資料 20 ページをお願いいたします。平成 22 年度のスケジュール表でございます。4 月には実証運行が始まりまして、乗降調査、地域説明会を経まして 7 月に第 1 回の総会を開催してございます。ブロック協議会へ廃止等の報告をしたうえで 23 年度の実証運行区間の乗降調査をしてございます。8 月末には地域説明会を開催し、9 月には五里合線、男鹿中線のダイヤ改正を 9 月 1 日付けで改正しております。10 月には加茂地区の地域説明会、こちらは先ほど説明しましたとおり、デマンド運行をするということで地域の住民の方に説明をしております。10 月の半ばには庁内検討会、10 月の下旬には幹事会を開催してございます。11 月は今回の総会ということであります。委託運行事業者の決定については 12 月の末を予定しております。1 月には幹事会、総会ということで実証運行の準備をすすめていきたいと予定をしております。以上でございます。

○木村会長

ただいま事務局から、今後のスケジュールについて説明がありました。質問や意見はありますか。委託業者の決定が 12 月末と？

○事務局 吉田
はい。

○木村会長
そうと、これから入札の手続きにはいるのですか。

○事務局 吉田
はい。

○木村会長
それでは、今後のスケジュールについて本案のとおり決定することについてご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり。）

ご異議ないようですので、今後のスケジュールについては、本案のとおり決定されました。引き続き、次第４のその他に入らせていただきますが、なにかありませんか。

○大淵委員
前の路線バスの地域説明会の結果表について、主な要望等についてさきほど何点か口頭で対応を話されたのですが、要望については聞いておけばいいと思うのですが、対応しなければならない事項については議事録出すときに、どういう回答をしたのか表していただけないでしょうか。

○事務局 山本企画政策課長（事務局長）
承知しました。皆さんに後で整理したものを改めて送りますのでよろしくお願いします。

○木村会長
ほかに何かありませんか。
ほかにご意見がないようですので、以上をもちまして本日の日程を終了いたします。本日は様々なご意見をいただきましたが、それらを踏まえ、今後の事業を進めさせていただきたいと思います。それではこれで議事を終了いたします。長時間にわたるご審議お疲れさまでございました。

午後 3 時 38 分閉会

署名

会議の次第を記載し、これを相違ないことを証明するためにここに署名する。

平成22年11月25日

会 長 木 村 一 裕

委 員 仲 村 盛 吉

委 員 渡 辺 敏 秀